

みえ地震対策の日 シンポジウム

昭和東南海地震・津波に
よる被害状況（尾鷲市内）
写真提供：太田金典氏

～過去の震災から学び、未来に活かす～

三重県では、昭和東南海地震が発生した12月7日を「みえ地震対策の日」と定めています。

今回のシンポジウムでは、「過去の震災から学び、未来に活かす」をテーマとして、東日本大震災や熊本地震に関する講演や体験談に加え、これらの地震の体験者、郷土史家、行政関係者によるパネルディスカッションを通じて、今後の私たちの地震・津波対策のあり方を考えます。



鳥羽市国崎町常福寺境内にある津波流
失跡。1854年安政東海地震の際に、この
地を襲った津波や被害の様相が記されて
いる。

入場無料（定員500名） | 事前に参加申込みをお願いします（締切12月6日） | 手話通訳・要約筆記あり

日
時
会
場

平成29年 **12月10日(日)** 13:00～16:30 (開場 12:00)
鳥羽市民文化会館大ホール (鳥羽市鳥羽3丁目8-3)

※鳥羽市に「大雨」「洪水」または「暴風」警報が発表されている場合や、県内に震度5弱以上の地震が観測され、災害対策本部を設置している場合など、やむを得ずシンポジウムを中止する場合があります。ご了承ください。

次
第

1 開会挨拶

三重県知事
三重大学学長
鳥羽市長

鈴木 英敬
駒田 美弘
中村 欣一郎

2 みえの防災大賞表彰式

3 基調講演

「三重県の地震・津波防災のために」
～2011年東日本大震災津波・2016年熊本地震の教訓～

講師 都司 嘉宣 氏
公益財団法人深田地質研究所 客員研究員
国立研究開発法人建築研究所 特別客員研究員

4 語り部トーク

- (1) 「地震によるコミュニティの絆と課題」
阿蘇復興への道 井手 良輔 氏
- (2) 「震災を経験して伝えたいこと」
～中学生視点で見た東日本大震災～
四日市東日本大震災支援の会 安田 要 氏

5 パネルディスカッション

「過去の震災から学び、未来に活かす」

パネリスト 野村 史隆 氏 (鳥羽市教育委員会 文化財専門員)
中村 欣一郎 (前掲)
井手 良輔 氏 (前掲)
安田 要 氏 (前掲)

コメンテーター 都司 嘉宣 氏 (前掲)
コーディネーター 川口 淳 (三重大学大学院工学研究科 准教授)

6 閉会挨拶

鶴岡 信治 (みえ防災・減災センター センター長)

みえ防災・減災ア・ガイド



会場内設置のパソコン・タブレットで、防災・減災に関する
様々な情報を実際に見ることができます。

主催 | みえ防災・減災センター、三重県、三重大学 共催 | 鳥羽市、津地方気象台

お問い合わせ
お申し込み先

みえ防災・減災センター

☎: 059-231-5694 FAX: 059-231-9954

〒514-8507 津市栗真町屋町1577

三重大学 地域イノベーション

研究開発拠点A棟3階

E-mail: bosai@crc.mie-u.ac.jp

midimic
mie disaster mitigation center

講師紹介

都司 嘉宣 (つじ よしのぶ) 氏

公益財団法人深田地質研究所 客員研究員

国立研究開発法人建築研究所 特別客員研究員

専攻：津波・高潮・古地震

1947年9月 奈良県生まれ。1972年東京大学理系大学院地球物理学専攻修士修了。理学博士。東京大学地震研究所 津波高潮部門助教授、東京大学地震研究所 地震火山災害部門助教授、東京大学地震研究所 地震火山災害部門准教授を経て、現職に至る。

主な著書に「沿岸災害の予知と防災（共著／白亜書房,1987）」、「地震と断層（共著／東京大学出版会,1994）」、「古地震を探る（共著／古今書院,1995）」、「千年震災（ダイヤモンド社,2011）」、「歴史地震の話ー語り継がれた南海地震（高知新聞社,2012）」がある。2002年から産経新聞、「温故地震」（月1回）を連載中。

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の際にはNHKやTBSなどで解説。



会場案内

至二見
近鉄鳥羽線 鳥羽駅
JR 参宮線 鳥羽駅
伊勢志摩スカイライン
鳥羽みなとまち文学館
中之郷駅
鳥羽水族館
鳥羽シーサイドホテル
鳥羽市役所
ミキモト真珠島
坂手島
志摩赤崎駅
安楽島大橋
市立図書館
鳥羽中央公園
鳥羽市民文化会館 (シンポジウム会場)

臨時駐車場周辺地図

安楽島大橋
市立図書館
保健福祉センターひだまり
鳥羽中央公園 (野球場)
市立図書館
鳥羽中央公園 (市民体育館)
750
駐車場

【会場までのご案内】

- ★ 近鉄・JR鳥羽駅から、徒歩10分
- ★ 車で越しの方は、保健福祉センターひだまり前の無料駐車場をご利用ください。
- ※鳥羽バスセンター及び駐車場から会場までは無料シャトルバスを運行します（11：30から17：30まで 随時運行）

申込方法

●郵送・E-mail

「みえ地震対策の日シンポジウム参加申込」と記載のうえ、①お名前（ふりがな）、②連絡先（電話番号・メールアドレスなど）を明記し、下記住所またはE-mailアドレスまでお送りください。

●FAX

以下の「参加申込書」に必要事項を記入し、下記FAX番号までお送りください。

※お申し込み受理の連絡等はいりません。当日会場へお越しください。

みえ地震対策の日シンポジウム 参加申込書

●お名前	代表者以外の参加人数
●電話番号	名
●E-mail	ご同行者のいる場合にご記入ください。
送先	
E-mail : bosai@crc.mie-u.ac.jp	
FAX : 059 - 231 - 9954	
〒514-8507 津市栗真町屋町1577 三重大学地域イノベーション研究開発拠点A棟3階 みえ防災・減災センター	

※ご記入いただいた個人情報につきましては、当シンポジウムでのみ使用し、その他の目的で利用することはありません。